

『Mind Charging』

第 116 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 18 日

アリストテレスの名言



The roots of education are bitter, but the fruit is sweet.

教育の根っこは苦いが、その実は甘い。

この言葉の『教育』という部分を、そのままの意味でも『鍛錬』や、『今の(若い)うち』などに置き換えることもできると思います。教育を受けることが当たり前ともいえる学生時代の真ただ中であるみなさんは、時には厳しい結果に打ちひしがれたり、その結果に対して叱責されたりして“苦い思い”をすることもあると思います。まだ自分の中に身につけていないことを学んでいるわけですから簡単なことばかりではありません。小学校・中学校・高校と、カテゴリーが上がる毎に難易度も上がっていきますので、今みなさんが取り組んでいることは非常に大変なことなのだと思います。

時々、『将来この勉強は仕事で使わないのに・・・』と、授業で教わる“学問”に対する疑問を口に出しているシーンに遭遇します。私自身も当時同じようなことを考えたことがあります。『あれは適正テストだったのかもしれない』と、振り返ってみると思います。大袈裟な言い方ですが、オールジャンルを知った上で自分の“適正”を判断し、将来への道筋を探るための手段の一つだと思います。まだ見ぬ自分の適性や才能は、意外なところから見つかるものです。だからこそ、目の前にある現在やるべきことから目を逸らさず懸命に取り組む、自分の人生を『幸せ』という多くの甘くておいしい果実が実る立派な樹木のように育てましょう。そのために、今はしっかりと根を張るための時間です。(編集委員：入試広報室 鈴木)

アリストテレス(アリストテレーズ、古希: Ἀριστοτέλης、羅: Aristotelēs、前 384 年 - 前 322 年 3 月 7 日)は、古代ギリシアの哲学者である。プラトンの弟子であり、ソクラテス、プラトンとともに、しばしば西洋最大の哲学者の一人とされる。知的探求つまり科学的な探求全般を指した当時の哲学を、倫理学、自然科学を始めとした学問として分類し、それらの体系を築いた業績から「万学の祖」とも呼ばれる。特に動物に関する体系的な研究は古代世界では東西に類を見ない。様々な著書を残し、イスラーム哲学や中世スコラ学、さらには近代哲学・論理学に多大な影響を与えた。また、マケドニア王アレクサンドロス 3 世(通称アレクサンドロス大王)の家庭教師であったことでも知られる。(Wikipedia 参照)